



Title	意匠学会会報 No. 71/大会報告/総会報告/一般会務報告
Author(s)	
Citation	デザイン理論. 2012, 60, p. 102-108
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/53525
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

大会報告

第54回大会は、平成24年7月21日(土)と22日(日)の2日間、京都工芸繊維大学において開催された。詳細は以下のとおり。

会場：京都工芸繊維大学 60周年記念館
会期：平成24年7月21日(土)～22日(日)
総会・研究発表・シンポジウム：

60周年記念館1階講義室
パネル発表：60周年記念館1階ギャラリー
懇親会：「プラザ KIT」 会費：3,000円
大会参加費：1,000円(会員・非会員・学生とも、
資料不要の学生は無料)

【プログラム】

第1日目(7月21日) 10:00～10:30 受付

10:30～10:45 開会の挨拶

意匠学会会長 藤田治彦

〔第1セッション〕

- ・大学所蔵作品にみるデザインの諸相
座長：並木誠士(京都工芸繊維大学)

10:45～11:15 研究発表01

「1960年代チェコスロヴァキアの映画ポスターに関する考察」

中川可奈子(京都工芸繊維大学)

11:15～11:45 研究発表02

「アーティスト・デザイナー杉田禾堂の仕事ー大阪府工業奨励館試作品(京都工芸繊維大学美術工芸資料館蔵)を中心にー」

宮島久雄(高松市美術館)

11:45～12:15

美術工芸資料館にて、チェコスロヴァキアの映画ポスターと杉田禾堂の作品見学

休憩65分(自由時間に、美術工芸資料館、KIT
倶楽部、同窓会バビリオン、附属図書館見学可)

〔エクスカーショーン〕

13:20～14:20

(美術工芸資料館見学：展示解説付き)

教員作品展(展示解説：平芳幸浩、野口企
由、櫛 勝彦、中野仁人、多田羅景太)

〔総会〕 14:30～15:30

〔シンポジウム〕 15:30～17:30

「デザイン教育の今と昔ー近代日本デザイン
教育から見えてくるものー」

総合司会：平芳幸浩(京都工芸繊維大学)

発表者：

森 仁史(金沢美術工芸大学)

「デザインを教育するーその始原と日本的
特性ー」

青木美保子(京都女子大学)

「近代京都におけるデザイン教育」

鈴木桜子(杉野服飾大学)

「服飾教育におけるデザイン教育」

櫛 勝彦(京都工芸繊維大学)

「デザインとデザイン思考における美しさ」

〔懇親会〕 17:45～19:45「プラザ KIT」

第2日目(7月22日) 10:00～10:30 受付

〔第2セッション〕

- ・近代の企て

座長：永井隆則(京都工芸繊維大学)

10:30～11:00 研究発表03

「画家・李仁星と日本近代美術の関係に
ついてー1930年代を中心にー」

姜 恵蘭(京都工芸繊維大学)

11:00 ～ 11:30 研究発表04

「輸出向『彫刻家具』(1890-1930)について:
ウラジオストク市での調査を中心に」

門田園子(埼玉大学)

11:30 ～ 12:00 研究発表05

「近代日本における少女的表象の生成に
ついてー商品デザインの考察から」

神野由紀(関東学院大学)

休憩60分(自由時間に美術工芸資料館見学可)

[パネル発表・懇談会] 13:00 ～ 13:50

座長: 櫛 勝彦(京都工芸繊維大学)

パネル発表01 大森正夫(京都嵯峨芸術大学)

「都市型アートフェスティバルの実践プログ
ラムー「神戸ビエンナーレ2013」のプロジェクトと
マネージメントー」

パネル発表02 小山格平(京都市立芸術大学)

「Sound Ring」

パネル発表03 滝口洋子(京都市立芸術大学)

「Lolita」

パネル発表04 塚田 章(京都市立芸術大学)

「京団扇のデザイン」

[第3セッション]

・メディアと制度のアクチュアリティ

座長: 三木順子(京都工芸繊維大学)

14:00 ～ 14:30 研究発表06

「飯村隆彦のビデオ作品における『見る』
ことと『見られる』こと」

望月由衣(京都工芸繊維大学)

14:30 ～ 15:00 研究発表07

「21世紀における大型美術展の変容とその
役割ー作品と場との関係性からー」

山下晃平(京都市立芸術大学)

休憩15分

[第4セッション]

・建築と意匠

座長: 野口企由(京都工芸繊維大学)

15:15 ～ 15:45 研究発表08

「武田五一の建築意匠論とその思想的影
響について」 市川秀和(福井工業大学)

15:45 ～ 16:15 研究発表09

「近世初期障壁画の空間性ー「間(ま)」のダ
イナミクスー」 中澤菜見子(大阪大学)

16:15 ～ 16:45 研究発表10

「G.Th.リートフェルトの建築作品にみる地
域性の表現について」

奥 佳弥(大阪芸術大学)

16:45 ～ 17:00 閉会の挨拶

意匠学会会長 藤田治彦

総会報告

第54回総会は、平成24年7月21日(土)、
京都工芸繊維大学 60周年記念館において
開催された。

藤田会長より挨拶があり、デザイン史フォー
ラムが意匠学会国際交流推進部門として活
動すること、英語論文集Design Discourseを
「デザイン理論」に掲載すること、来年度から
意匠学会大会で英語発表を認めること、など
今後の方針が述べられた。

議事進行に先立ち、議長に秋田公立美術
工芸短期大学の天貝義教会員が選出され、
出席者68委任状68により、総会が成立する
旨の報告があった。

議題 1) 2011 (H.23) 年度 事業報告、
収支決算報告及び会計監査報告

[事業報告]

1. 大会の開催(総会を含む)

第53回大会 H.23.7.16(土)・17(日)

於 国立民族学博物館

2. 研究例会の開催

第206回 H.23.5.14(土) 於 成安造形大学

第207回 H.23.9.3(土) 於 大阪工業大学

第208回 H.23.11.26(土)

於 京都市立芸術大学

第209回 H.24.2.4(土) 於 大阪人間科学大学

3. 刊行物:『デザイン理論』56・57・58号、
会報 67・68・69号を発行

4. 会員名簿の作成
5. デザイン史フォーラムの合流
6. 藝術学関連学会連合シンポジウム開催
7. 意匠学会ウェブサイトのリニューアル
8. 役員会の開催 (6回)
9. 他学会等との交流：日本学術会議、藝術学関連学会連合、日本デザイン学会など

〔収支決算報告〕

事務局会計担当 今井美樹委員より、平成23年度収支決算が報告された。(下表参照)

〔会計監査報告〕

会計監査 伊東徹夫・末包伸吾両委員により、適正に処理されているという報告があった。

- ・議題1について異議なく、了承された。

2011 (H.22) 年度 収支決算書

(自2011年4月1日
至2012年3月31日)
(2012年7月21日承認)

1. 収支決算

I. 収入の部	
会員会費	2,728,000
正会員 $8,000 \times 341 = 2,728,000$ 法人会員 $15,000 \times 0 = 0$	
雑収入	0
利息	380
当期収入合計 (A)	2,728,380
前年度よりの繰越金	7,748,535
前年度までの会費未納繰越	808,000
2010年度分 $8,000 \times 81 = 648,000$ 2009年度分 $8,000 \times 20 = 160,000$	
収入合計 (B)	11,284,915
II. 支出の部	
『デザイン理論』編集費	80,000
『デザイン理論』印刷費	1,528,800
大会補助費	142,140
例会費	27,042
分科会費	0
ホームページ作成・維持費 (サイトリニューアル、ドメイン取得、データ 移管費等含む)	259,500
学会賞等奨励金	50,000
藝術学関連学会連合会費	15,000
事務費	33,470
旅費	120,000
予備費	0
学会支援センター委託料	747,486
業務委託 手数料 320,484 業務委託 立替金 206,873 名簿印刷費 220,129	
藝術学関連学会連合シンポジウム	51,050
会費徴収不能額 (3年間会費未納のため退会扱い)	264,000
未納 3年 $\Delta 24,000 \times 11 = 264,000$	
当期支出合計 (C)	3,318,488
当期収支差額 (A) - (C)	$\Delta 590,108$
次期繰越金 (B) - (C)	7,966,427
支出合計	11,284,915

2. 貸借対照表

I. 資産の部	
現金	40,000
預金	7,470,427
未収入金	544,000
未納なし $0 \times 265 = 0$ 未納 1年 $\Delta 8,000 \times 36 = \Delta 288,000$ 未納 2年 $\Delta 16,000 \times 16 = \Delta 256,000$	
資産合計	8,054,427
II. 負債の部	
前受金	88,000
2011年度会費 $8,000 \times 11 = 88,000$	
正味財産	7,966,427
負債および正味財産合計	8,054,427

参考資料 (1) 会員状況

種別	2011/4/1	入会	復会	退会	2012/3/31
正会員	321	24	0	17	328
顧問	2				2
法人会員	0				0
合計	323				330

参考資料 (2) 会費納入状況

種別	未納なし	未納 1年	未納 2年	未納 3年	計
正会員	265	36	16	11	328
顧問	2				2
法人会員	0				0
合計	267				330

議題 2) 2012 (H.24) 年度 事業経過報告及び
予算 (当初及び補正)

〔事業経過報告〕

- 大会の開催 (総会を含む)
第54回大会 H.24.7.21 (土)・22 (日)
於 京都工芸繊維大学
- 研究例会の開催
第210回 H.24.5.16 (土) 於 神戸芸術工科大学
第211回 H.24.9.29 (土) 於 成安造形大学 (予定)
第212回 H.24.11月 於 京都造形芸術大学 (予定)
第213回 H.25.2月 予定
- 分科会 (デザイン史分科会など) : 2回
- 刊行物 : 『デザイン理論』59・60・61号、
会報70・71・72号を発行
- 会員の募集 (正会員、法人会員)
- 広報活動の推進
- 他学会との交流 (日本学術会議、藝術学関
連学会連合、日本デザイン学会など)

- 意匠学会賞各賞の授与
- 役員会の開催 : 5回

〔当初予算及び補正予算案〕

事務局会計担当 今井美樹委員より、平成
24年度当初予算及び補正予算案が説明さ
れた。(下表参照)

- ・議題 2について異議なく、了承された。

議題 3) 2013 (H.25) 年度 事業計画案及び
予算案

〔事業計画案〕

- 大会の開催 (総会を含む) : 1回
- 研究例会の開催 (見学会を含む) : 4回
- 分科会 (デザイン史分科会など) : 2回
- 刊行物の刊行 : 『デザイン理論』62・63
号、会報73・74号
- 会員の募集 (正会員、法人会員)
- 広報活動の推進

2012 (H.24) 年度
当初予算
(自2012年4月1日
至2013年3月31日)
(2011年7月16日承認)

1. 当初予算

I. 収入の部	
会員会費	2,568,000
正会員 8,000×321=2,568,000 法人会員 15,000× 0= 0	
雑収入	0
前年度よりの繰越金	7,056,535
収入合計 (A)	9,624,535
II. 支出の部	
『デザイン理論』編集費	80,000
『デザイン理論』印刷費	1,400,000
大会補助費	150,000
例会費	40,000
分科会費	10,000
ホームページ作成・維持費	100,000
学会賞等奨励金	150,000
藝術学関連学会連合会費	15,000
事務費	15,000
旅費	120,000
予備費	50,000
学会支援センター委託料	580,000
業務委託 手数料 330,000 業務委託 立替金 250,000	
当期支出合計 (B)	2,710,000
次期繰越金 (A) - (B)	6,914,535
支出合計	9,624,535

2012 (H.24) 年度
補正予算案
(自2012年4月1日
至2013年3月31日)
(2012年7月21日承認)

2. 補正予算案

I. 収入の部	
会員会費	2,624,000
正会員 8,000×328=2,624,000 法人会員 15,000× 0= 0	
雑収入 (デザイン史フォーラム残金)	783,867
前年度よりの繰越金	7,966,427
収入合計 (A)	11,374,294
II. 支出の部	
『デザイン理論』編集費	100,000
『デザイン理論』印刷費	1,550,000
大会補助費	150,000
例会費	40,000
分科会費	10,000
ホームページ作成・維持費	150,000
学会賞等奨励金	150,000
藝術学関連学会連合会費	15,000
事務費	15,000
旅費	120,000
予備費	50,000
学会支援センター委託料	580,000
業務委託 手数料 330,000 業務委託 立替金 250,000	
当期支出合計 (B)	2,930,000
次期繰越金 (A) - (B)	8,444,294
支出合計	11,374,294

7. 他学会等との交流（日本学術会議、藝術学関連学会連合、日本デザイン学会など）
8. 意匠学会賞各賞の授与
9. 役員会の開催：5回
10. 役員選出選挙の実施

〔予算案〕

事務局会計担当 今井美樹委員より、平成25年度予算案の説明があった。（下表参照）

・議題3について異議なく、了承された。

議題4) 役員選出規定の改定について

藤田会長より、役員選出規定の一部を以下のように改定する旨の提案があった。

〔改訂前〕

第1条2項(4) 10人委員会は、学会の運営に必要な各会務担当の委員を正会員の中から

ら選出し委嘱することができる。委嘱する委員の数は10人を超えることはできない。

〔改訂後〕

第1条2項(4) 10人委員会は、学会の運営に必要な各会務担当の委員を正会員の中から選出し委嘱することができる。委嘱する委員の数は20人を超えることはできない。

・議題4について異議なく、了承された。

議題5) 藝術学関連学会連合報告

藤田会長より、藝術学関連学会連合第7回公開シンポジウム「地・人・芸術」が、6月16日(土) 13:00～17:30 仙台市博物館において開催され、意匠学会から吉村典子会員がパネリストとして参加したことが報告された。また、次期の会計監査に意匠学会から会員を推挙した旨報告があった。

2013 (H.25) 年度 予算案

(自2013年4月1日 至2014年3月31日) (2012年7月21日承認)

1. 予算案

Ⅰ. 収入の部	
会員会費	2,624,000
正会員 8,000×328=2,624,000 法人会員 15,000× 0= 0	
雑収入	0
前年度よりの繰越金	8,444,294
収入合計(A)	11,068,294
Ⅱ. 支出の部	
『デザイン理論』編集費	80,000
『デザイン理論』印刷費	1,000,000
大会補助費	150,000
例会費	40,000
分科会費	10,000
ホームページ作成・維持費	150,000
学会賞等奨励金	150,000
藝術学関連学会連合会費	15,000
事務費	15,000
旅費	120,000
予備費	50,000
学会支援センター委託料	580,000
業務委託 手数料 330,000	
業務委託 立替金 250,000	
選挙関連業務費	50,000
当期支出合計(B)	2,410,000
次期繰越金(A)－(B)	8,658,294
支出合計	11,068,294

一般会務報告

平成23年度 第6回役員会 議事録

日時：平成24年2月4日(土) 12時30分～

場所：大阪人間科学大学 7階第1多目的ホール

出席者：伊集院敬行、今井美樹、大森正夫、面矢慎介、佐藤博一、島先京一、関哲洋、多田羅景太、谷本尚子、永井隆則、並木誠士、藤田治彦、山口良臣、渡邊眞
(50音順、敬称略、以下同様)

〔審議事項〕

議題 1. 前回議事録の承認

承認された。

議題 2. 入退会希望者の承認

承認された。

議題 3. 5月例会について

場所：神戸芸術工科大学

日時：5月26日（土）

発表候補者：

寺尾藍子（石川県輪島漆芸美術館）

「1950年代の海外展における日本デザイン
のディスプレイとそのコンセプト」

秋丸知貴（株式会社古裂會／京都大学こころの
未来研究センター連携研究員）

「抽象絵画と近代技術－心性の変容の
造形的反映の観点から」

議題 4. 9月例会について

成安造形大学および大阪市立デザイン教育研究所が候補にあがった。

議題 5. 第54回大会について

会場：京都工芸繊維大学

日時：7月21日（土）、22日（日）

プログラム案が提出され、発表候補者の公募について審議された。研究発表12名程度、パネル発表10点程度とし、公募を早急にホームページに掲載する。

議題 6. 発表者の所属表記について

研究例会案内は、発表タイトルと名前のみとし、レジュメの最後に所属等を記載する。所属等（20文字以内）の例を5月例会で検討する。『デザイン理論』は、論文には記載せず、まとめて記載する。詳細は編集委員会で決定する。

議題 7. その他

・会則等の規定表記について、「改正」「改定」などが混在するが、これまで通りとする。

〔報告事項〕

各種委員会報告

・編集委員会

進捗状況の報告で、印刷時にページオーバーとなる件について、査読段階で注意喚起する。

・広報委員会

現ホームページは3月末で閉じ、ページデザインを変更するとともに、新しいアドレスで早急に開設する。新アドレスをデザイン史フォーラム等に連絡する。

平成24年度 第1回役員会 議事録

日時：平成24年5月26日（土）11時～

場所：神戸芸術工科大学 クリエイティブセンター 2階

出席者：伊集院敬行、今井美樹、佐藤博一、関哲洋、多田羅景太、谷本尚子、塚田章、並木誠士、藤田治彦、三木順子、森仁史、藪亨、山口良臣、吉村典子

〔審議事項〕

議題 1. 前回議事録の承認

承認された。

議題 2. 会計報告および総会資料について

一部修正の上、承認された。

議題 3. 第54回大会について

場所：京都工芸繊維大学

日時：7月21日（土）、22日（日）

発表候補者（提出順）：

〔研究発表〕

・宮島久雄（高松市美術館）「アーティスト・デザイナー杉田禾堂の仕事－大阪府工業奨励館試作品（京都工芸繊維大学美術工芸資料館蔵）を中心に」

・山下晃平（京都市立芸術大学大学院）「21世紀における大型美術展の変容とその役割－作品と場との関係性から－」

・神野由紀（関東学院大学）「近代日本における少女的表象の生成について－商品デザインの考察から」

・姜恵蘭（京都工芸繊維大学大学院）「画家・李仁星と日本近代美術関係について－1930年代を中心に－」

・望月由衣（京都工芸繊維大学大学院）「飯村隆彦のビデオ作品における「見る」ことと「見られる」こと」

・市川秀和（福井工業大学）「武田五一の建築意匠論とその思想的影響について」

・大阪芸術大学 1～2名

・大阪大学 1～2名

・（京都工芸繊維大学 1名）

もう少し発表者に余裕があるので、役員からの推薦者のエントリーを6月10日まで受付延長する。

[パネル発表]

- ・大森正夫(京都嵯峨芸術大学)「都市型アートフェスティバルの実践プログラムー「神戸ビエンナーレ2013」のプロジェクトとマネージメントー」
- ・塚田章(京都市立芸術大学)
- ・京都工芸繊維大学
- ・大阪芸術大学
- ・大阪工業大学

来年度の大会では、一斉メールで研究発表、作品発表の公募を知らせたい、また、作品でなくてもパネル発表は可能ではないかという意見があり、ともに引き続き検討課題とする。

議題4. 9月例会について

場所: 成安造形大学

日時: 9月29日(土)

発表者: 未定

議題5. 11月例会について

場所: 京都造形芸術大学

日時: 未定

発表者: 未定

議題6. 2月例会について

場所: 武庫川女子大学又は京都女子大学

日時: 未定

発表者: 未定

議題7. 発表者の所属表記について

『デザイン理論』では、巻末に執筆者情報を載せる。論文の冒頭には所属を無くしても良いのではないかという意見があり、暫定的に承認された。

研究発表のレジュメは、従来の形とする。

議題8. 入退会希望者の承認

承認された。

議題9. その他

・国際シンポジウム「都市のアート・アンド・クラフツ」について、意匠学会共催の提案があり、これを承認した。9月23日に開催される。

[報告事項]

1. 各種委員会報告

・編集委員会

『デザイン理論』59号、60号投稿論文の査読に携わられた方々が報告された。

[査読に携わられた方々]

青木加苗、伊東徹夫、伊原久裕、今井美樹、岩間香、大森正夫、緒方康二、面矢伸介、川島洋一、榊原吉郎、佐藤敬二、島先京一、鈴木桜子、多田羅景太、田中敏雄、谷口知弘、常見美紀子、出井豊二、豊原正智、永井隆則、中野仁人、西村美香、橋本英治、廣田孝、三木順子、森田雅子、森山貴之、藪亨、山口良臣、山本政幸、横川公子、吉村典子、渡邊眞(以上、33名50音順 敬称略、各号に今回採用されなかった論文の査読も含む)

査読に携わられた方々の一覧を次回から『デザイン理論』の巻末に掲載する予定である。

・学会賞委員会

論文賞の授賞者について報告があり、作品賞とともに7月の大会で授与式を行う。

・広報委員会

契約サーバの変更とページのリニューアルが完了していることが報告された。

2. その他

・藝術学関連学会シンポジウムからの配布物が必要な場合は、事務局に連絡する。

会報担当連絡先

〒670-0092 姫路市新在家本町1-1-12

兵庫県立大学環境人間学部

メディアデザイン研究室 関 哲洋 宛

e-mail: seki@shse.u-hyogo.ac.jp

TEL. 079-292-9332 (研究室直通)

FAX. 079-293-5710 (総務課)